

ASEAN 4 カ国のエネルギー管理士指導者育成のための実践研修を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、2016年11月14～18日の5日間、タイのトレーニングセンターで、AJEEP（ASEAN JAPAN Energy Efficiency Partnership）新スキーム2のエネルギー管理士育成事業における指導者育成のための実践研修を実施しました。

- (1) ミニプラント・デモンストレーションの設備を使ったシミュレーション・データ採取・解析を実施。
- (2) インドネシア・マレーシア・タイ・ベトナムからそれぞれ2名の研修生が参加。
- (3) 各国のエネルギー管理士認定制度の現状の共有と自国での省エネ診断計画を策定。



全体集合写真



講義風景



ミニプラントでの研修



デモンストレーションセンターでの研修

エネルギー管理士トレーナー育成（以下、ToT）事業の第1弾として、タイのトレーニングセンター（ミニプラント・デモンストレーションセンター）の設備を使って、実務研修を実施しました。

- (1) トレーニングにおいては、シミュレーション体験後・実際に設備に触れてのデータ採取・データ解析の流れで、実務研修を実施しました。
- (2) 本年度はエネルギー管理士認定制度が導入されているインドネシア・マレーシア・タイ・ベトナムの4カ国から各2名の参加を得て、指導者に育成すべく研修を実施しました。
- (3) 4カ国からはエネルギー管理士認定制度の実情・問題点などの情報の共有化がなされ、本事業の第2弾である自国での実践研修として、省エネ診断計画を策定しました。

本研修参加者は、研修で得られた知見を生かして自国で省エネ診断を実施し、その成果報告と最終試験を次回のワークショップで実施する計画です。また、これらの結果を総合的に評価して、ASEANのエネルギー管理士の指導者として認定する予定です。